

4.3. カリフォルニア大学バークレー校訪問

本機構はカリフォルニア大学バークレー校との交流を進めています。2023年3月に行われた本機構の設置記念シンポジウムでは、Eric Van Dusen先生、Lisa Yan先生にバークレーでのデータサイエンス・AI全学教育の取り組みをご紹介いただきました。これを受け、6月20～23日にカリフォルニア大学バークレー校で開催されたワークショップ「2023 National Workshop Data Science Education」に、本機構から奥村圭司特任准教授、および情報理工学院から村田剛志教授が現地参加しました。

講演内容は多岐に渡りますが、その一つでは、Jupyterノートブックを活用することの意義や相互作用型の講義を取り入れること、TAによる受講生サポートなど、バークレー校での5年間にわたる教育活動が紹介されました。また、ノートブック形式を既存授業へ導入することの難しさについても議論があり、まさに若い組織として本機構が直面している課題も挙げられました。Eric Van Dusen先生、Lisa Yan先生とランチョンミーティング形式での意見交換も行い、TAのモチベーションを持続させるコツなどについてご助言をいただきました。また、JSPSサンフランシスコ研究連絡センターの一角にあるTokyo Tech ANNEX Berkeleyも訪れ、JSPS職員である中別府雄作センター長および太田憲吾副センター長と意見交換を行いました。



ワークショップ会場



JSPSサンフランシスコ研究連絡センターにて右から中別府センター長、奥村特任准教授、太田副センター長

5. TF(Teaching Fellow)育成プログラム (2024年度開始予定)

5.1. TF育成プログラムの概要



本機構が考えるエキスパートとは、DS・AIの高度な専門知識や技術を有するだけでなく、専門分野の境界を越えてイノベーションを創出し、その未来を担う人材育成もできる「共創型エキスパート」です。

「共創型エキスパート」人材に不可欠な「DS・AIを教えることのできる」能力をかん養するため、2024年度から、TF(Teaching Fellow: 授業担当できるTA)育成プログラムを実施予定です。

本プログラムは、高度な専門性と教育力を同時に学びながら、最終段階では一部の授業を担当できるレベルにまで「教える力」を育成できるものとなっており、教育能力の開発及び向上支援を行っている教育革新センター(Center for Innovative Teaching and Learning (CITL))と連携して進めていきます。

5.2. TA業務報告会の開催

2024年2月21日に、2023年度本機構採用のTA(ティーチング・アシスタント)を集め、TA業務報告会を開催しました。

この会は、TA業務についての事例共有やディスカッションを通じて「教える力」の強化をはかること、業務改善につながる情報を提供してもらうことを目的としており、2024年度から始まるTF育成プログラムにおける「TAフォーラム」と同じ位置づけのものとなります。

当日は、大岡山キャンパス会場のTA6名、すずかけ台キャンパス会場のTA4名、計10名のTAとCITL教員1名、本機構の教員6名が参加し、各会場をオンラインで繋ぐハイブリッド形式で行いました。

より良い授業を作り上げるためにはどうしたら良いか、教員とTAとの間で活発な意見交換が行われ、1時間という短い時間ではありましたが、実りある会となりました。

